

平成 25 年度 法科大学院（法務研究科）既修者認定試験

# 刑 法 問 題 紙

A 日程

平成 24 年 10 月 28 日

16 : 00 ~ 17 : 30 (90 分)

(120 点)

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題を開いてはいけない。
2. 刑法の問題紙は 1 ページのみである。
3. 解答用紙は、問題 1 と問題 2 の 2 枚である。解答用紙の追加は認めない。
4. 解答用紙は 2 枚ともかならず提出すること。
5. 監督者の指示に従い、すべての解答用紙に受験番号と氏名を記入すること。
6. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
7. 試験終了まで退室してはいけない。

北 海 学 園 大 学

## 問題 1 (60 点)

甲は、兄Vとともに自己の車でドライブに出かけ、道の駅で昼食をとった後、駐車場に停車してある車に向かう途中、A男に因縁をつけられ口論になったところ、突然Aが所持していたゴルフクラブでVに殴りかかって来たので、Vが応戦した。甲は、急いで車に戻り、バックミラーを見たところ、AがVに対する攻撃を継続していたので、Aの身体に車を接触させてひるんだ隙にVを助け出そうと考え、車をバックさせた。車に接触しそうになったAは、あわてて転がり衝突を避けたが、Vが車の後輪に巻き込まれて死亡した。なお、Aは衝突を避けた際、路面に強く身体を打ち付けたため、全治 2 週間の打撲傷を負った。

甲の罪責を論ぜよ。

## 問題 2 (60 点)

甲は、某日深夜、家電量販店に忍び込み、ノートパソコン 5 台を盗み出し、知人の乙に対し、事情を話して売却を依頼した。乙は、数日後、パソコン 5 台をAに 50 万円で売却した。その後、乙は、Aから受け取った 50 万円のうち 10 万円を勝手に自分のために使ってしまい、甲には、「40 万円で売れた」と嘘をついて 40 万円を手渡した。

甲および乙の罪責を論ぜよ。